

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐山高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和4年5月25日(水) 9時45分～11時45分
- 3 開催場所 岐山高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	河崎 哲嗣	岐阜大学教育学部数学教育講座 准教授
副会長	井關 敦子	岐阜大学医学部母性看護学教授
委員	増田 勝美	長良東地区自治会連合会長
	内田 真樹	長良東民生委員・主任児童委員
	若井 悟	岐山高等学校元同窓会長
	山田 亨治	岐山高等学校PTA副会長
学校側	石神 政幸	校長
	笠原 常豊	教頭
	木澤 朗	教頭
	川口 晋	教務主任
	可知 誠	生徒指導主事
	小森 美穂	進路指導主事
	藤井 智大	記録(教務部)

5 会議の概要(協議事項)

授業参観後、校長、教頭、各分掌長(教務・生徒指導・進路指導)から、会議資料等について説明し、教育指導の重点及び学校経営計画、学校課題(目指すべき学校像)等について協議した。

【資料】 教育指導の重点及び学校経営計画、分掌・学年会の目標

(1) 教育指導の重点及び学校経営計画について

意見1: 昨年度作成したスクール・ポリシーも反映され、適切な経営計画である。

(2) 目指すべき学校像(本校や本校の生徒に期待すること)について

意見1: コロナの感染予防対策として認めている私服の生徒について、その様子は華美でなく、生徒たちが自ら学校生活にふさわしい節度を考えて行動できている。

意見2: 地域のボランティア活動に高校生や大学生が関わってほしい。以前は本校の生徒が地域ウォーキング会にボランティアとして参加していたので、ぜひまた参加してほしい。地域に貢献し見識を深めた経験を大学受験等でもPRしていくとよい。

意見3：社会では挨拶できることがとても大切であるが、道ですれ違ってもなかなか挨拶等できない生徒が多い。

⇒挨拶ができるようにと、部活動等を中心に生徒への指導に注力している。学校全体に対しては啓発程度しかできていないが、今後、挨拶ができる生徒がより多くなるよう継続して指導していく。

意見4：高校は小学校や中学校とは違うが、自治会と高校が協力して地域と高校が継続的に関わることができるとうい。

(3) 授業参観について

意見1：電子黒板等も上手に活用するなど、先生たちが授業に工夫をこらし、生徒も楽しそうに活動していて良い印象を受けた。

意見2：地学の授業では、生きていく上で大変重要な事柄を学習していた。地学を履修できる高校は少ないと聞いたので、中学生など外部にPRするとよい。

(4) 進学指導について

意見1：教室内や廊下に大学のパンフレットがあまり置いていないが、生徒の身近な場所に置くことにより、生徒の進学意識が高まるのではないか。

⇒進路資料室にはパンフレット等を、教室には受験関係の資料も置いている。今後は、意見を踏まえ、生徒が手に取りやすいような場所にも置けるように工夫していく。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会において、本校の教育指導の重点及び学校経営計画について、全委員からの承認が得られた。本校のあるべき姿に対して様々な意見があり、委員からの期待の大きさを改めて感じた。

今後は本校の特色ある教育活動や誇れる点を積極的に広報するとともに、今回得られた意見も踏まえて、今まで築いてきた本校の運営方針をスクール・ポリシーというかたちで実現していく。